

三条市の
「今」と「これから」を
お伝えします

8月

5月

11月

2月

8.1

2013/H25

No.9



スタートは道の駅「漢学の里しただ」から



地元の野菜が並ぶ「彩遊記」の直売コーナー

市議会だより
さんじよう



建設予定の5号橋の説明

原生林にかこまれた溪谷

歴史にふれながら工事現場を見学

「秘境八十里越
体感ツアーバス」が
スタート



今号の主な内容

《平成25年6月定例会（6月10日～24日）》

●議案賛否一覧 P2

《市政を問う》

●質疑・大綱質疑 P4

●一般質問 P7

●常任委員会審査レポート P13

《報告》

●政務調査費収支 P14

議会を傍聴
しませんか？

次の定例会の開催予定は

9/3^火～

議会だよりへのご意見・ご要望は、こちらまで。

電話：0256-34-5511（内線347） FAX：0256-33-8861

メール：gikaij@city.sanjo.niigata.jp

パソコンでも情報発信中！

三条市議会

検索

議案				会派名 (下段は所属議員数)		自由 クラブ	新政 クラブ	新しい 風	清流	日本共 産党議員 団	公明党 議員団	議決 結果
議案	番号	件名	概要	10	4	4	4	2	2			果
その他	議第14号	動産の取得について	ロータリー除雪車を取得するもの 取得金額 31,321,500円 契約先 株式会社日の出自自動車	○	○	○	○	○	○			同意
	議第15号	平成25年度三条市一般会計補正予算	農業担い手確保育成事業費、遺跡発掘調査費等の追加 補正額 619,995千円 補正後の額 45,494,995千円	○	○	○	○	○	○			原案可決
	議第16号	平成25年度三条市一般会計補正予算	バイオマス利活用推進事業費の追加 補正額 30,000千円 補正後の額 45,524,995千円	○	○	○	○	○	○			原案可決
	議第17号	平成25年度三条市一般会計補正予算	介護予防事業参加促進事業費などの追加 補正額 7,147千円 補正後の額 45,532,142千円	○	○	○	○	○	○			原案可決
専決 処分	報第1号	専決処分報告について (三条市税条例の一部改正について)	地方税法の一部を改正する法律が平成25年4月1日から施行されたことに伴う所要の改正 専決処分した日:平成25年3月31日	○	○	○	○	○	○			承認
	報第2号	専決処分報告について (三条市国民健康保険税条例の一部改正について)	地方税法の一部を改正する法律が平成25年4月1日から施行されたことに伴う所要の改正 専決処分した日:平成25年3月31日	○	○	○	○	○	○			承認
	報第3号	専決処分報告について (平成24年度三条市一般会計補正予算)	繰越明許費の補正 追加1件、変更1件 専決処分した日:平成25年3月29日	○	○	○	○	○	○			承認
	報第4号	専決処分報告について (平成25年度三条市国民健康保険事業特別会計補正予算)	補正額 2億5,923万円 補正後の額 106億3,463万円 専決処分した日:平成25年5月31日	○	○	○	○	○	○			承認
人事	諮第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員高野利子さん及び森山則夫さんは、平成25年9月30日任期満了することとなるので、その後任委員候補者として森山則夫さん及び白椿美代子さんを推薦するもの 任期:3年	○	○	○	○	○	○			同意
(議員発案)												
意見書	議員発案第1号	30人以下学級実現及び義務教育費国庫負担制度の復元を求める意見書の提出について	少人数学級の推進及び教育の機会均等と教育水準の維持、向上を図るよう要望する意見書を提出するもの 提出先:内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣	○	○	○	○	○	○			原案可決
(請願)												
請願	願第35号	30人以下学級実現及び義務教育費国庫負担制度の復元を求める請願	学級規模を30人以下とし、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元し、教育の機会均等と教育水準の維持、向上を図ることを求めるもの	○	○	○	○	○	○			採択
願	願第36号	年金2.5%の削減中止を求める請願	2013年10月からの年金2.5%削減の中止を求めるもの	×	※2	×	×	×	×			不採択

※1 長沼礼子さんについては反対。
長谷川正二さんについては賛成。
※2 西川哲司議員、島田伸子議員、
鶴巻俊樹議員は賛成。
高坂登志郎議員は反対。



会派所属議員

自由クラブ	○久住 久俊 武石 栄二	下村 喜作 梶 勉	佐藤 和雄 吉田進一郎	阿部銀次郎 森山 昭	熊倉 均 土田 俊人
新政クラブ	○高坂登志郎	西川 哲司	島田 伸子	鶴巻 俊樹	
新しい風	○杉井 旬	岡田 竜一	藤田 博史	名古屋 豊	
清流	○西川 重則	横山 一雄	佐藤 宗司	山田 富義	
日本共産党議員団	○小林 誠	武藤 元美			
公明党議員団	○野崎 正志	笹川 信子			

※○：会派の代表者



議案賛否一覧表

○：議案に対して賛成×：議案に対して反対

議案				会派名 (下段は所属議員数)		自由 クラブ	新政 クラブ	新しい 風	清流	日本共 産党議員 団	公明党 議員団	議決 結果
議案	番号	件名	概要	10	4	4	4	2	2			果
人	(市長提出)											
	議第1号	副市長の選任について	副市長吉田實さんは、平成25年7月20日任期満了することとなるので、その後任として吉田實さんを選任するもの 任期:4年	○	○	○	○	○	○			同意
	議第2号	監査委員の選任について	監査委員捧厚雄さんは、平成25年6月29日任期満了することとなるので、その後任委員として捧厚雄さんを選任するもの 任期:4年	○	○	○	○	○	○			同意
	議第3号	教育委員会委員の任命について	教育委員会委員長沼礼子さん及び長谷川正二さんは、平成25年7月25日任期満了することとなるので、その後任委員として長沼礼子さん及び長谷川正二さんを任命するもの 任期:4年	○	※1	○	○	×	○			同意
	議第4号	公平委員会委員の選任について	公平委員会委員猪浦賢治さんは、平成25年6月29日任期満了することとなるので、その後任委員として猪浦賢治さんを選任するもの 任期:4年	○	○	○	○	○	○			同意
事	議第5号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会委員横山正志さんは、平成25年6月29日任期満了することとなるので、その後任委員として横山正志さんを選任するもの 任期:4年	○	○	○	○	○	○			同意
	議第6号	三条市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	退職年金制度の見直しに伴う一部の消防職員に対する退職手当の加算の特例措置を廃止するもの 施行期日:平成25年7月1日	○	○	○	○	○	○			原案可決
	議第7号	三条市税条例等の一部改正について	地方税法の一部改正に伴い、これに準じ必要な改正を行うもの 施行期日:平成26年1月1日等	○	○	○	○	○	○			原案可決
	議第8号	三条市国民健康保険税条例の一部改正について	地方税法の一部改正に伴い、これに準じ必要な改正を行うもの 施行期日:平成26年1月1日	○	○	○	○	○	○			原案可決
	議第9号	三条市勤労青少年ホーム条例の一部改正について	勤労青少年ホームについて、指定管理者制度を導入するため、指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲その他必要な事項を定めるもの 施行期日:平成26年4月1日	○	○	○	○	○	○			原案可決
	議第10号	三条市学校給食共同調理場設置条例の一部改正について	裏館小学校内に新たな学校給食共同調理場を設置すること、またこれに伴い三条学校給食共同調理場を廃止することから、必要な改正を行うもの 施行期日:平成25年9月1日等	○	○	○	○	○	○			原案可決
	議第11号	三条市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	水道事業計画の変更に伴い、必要な改正を行うもの 施行期日:公布の日	○	○	○	○	○	○			原案可決
	議第12号	三条市火災予防条例の一部改正について	消防法施行令等の一部改正に伴い、引用する条項が移動したことから、必要な改正を行うもの 施行期日:公布の日	○	○	○	○	○	○			原案可決
	議第13号	三条市ホームヘルパー派遣に関する費用徴収条例の廃止について	障害者自立支援法の一部改正に伴い、難病患者等が障がい者に加えられ、障がい福祉サービスを利用することができるようになり、国の難病患者等ホームヘルプサービス事業が廃止されたことから、この事業の費用徴収について定める本条例を廃止するもの 施行期日:公布の日	○	○	○	○	○	○			原案可決

3 ページへ続く

問 本年5月に市内の建設業者の1社が自己破産した。公共事業も多く手掛けていたと聞くと影響はあるのか。

答 未完了の残工事は、農地、農業用施設工事で12件、公共土木施設工事で14件の合計26件である。建設業協会の協力をいただきながら早期完了に取り組んでいる。

問 井栗児童クラブの施設建設とふじの木保育園園庭拡張について、今後のスケジュールはどうなっているのか。

答 今年度は用地の測量、農振除外申請、できれば用地の取得を行っている。



助成額の2分の1を補助する。助成対象者は市内在住の妊娠または希望する女性と、夫及び同居家族等。抗体検査の統一はできず、助成はしない。



6月
定例会
市政の
?を
問いました

質疑・

大綱質疑

■議第3号

問 長沼礼子教育委員長の職務権限の認識について。教育委員会の重要な役割に、学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関することがある。平成23年12月の教育委員会定例会で四日町小学校、南小学校、条南小学校を統合することを正式に決定したとされているが議事録を見ても統合を承認するという言葉は出ていない。職務の認識が欠如していたというしかないがどうか。栄北小学校の窃盗事件の対応で地域住民や子ども達に大変混乱した状態をつくってしまった責任は大きい。責任を取って辞任願いが提出されたか。

答 長沼礼子さんは教育委員の職責をしっかりと果たし、三条市が進めてきた小中一貫教育の推進の基本的な方向感にはまさに志を同じくし、事に当たってきている。

問 教育委員のバランスについて。教育委員は広く地域住民の意向を反映する役割がある。第一中学校区小中一併校は来年4月に開校するが、地域住民の意向をしっかりと聞いていくためにも嵐南地区に教育委員が必要だと考えるがどうか。

答 教育委員の地域分割については、私がいる限りするつもりはない。

問 一併校をめぐる住民監査請求は、退職者教員との懇談会の席

上、「統廃合はいつ正式決定したのか」の質問に長沼氏が答弁不能だったことに起因する。教育委員長として適格か。

答 長沼委員長は小中一貫教育に対し、深い理解と指導力を発揮している。再任は市長から直接お願いした。

■議第7号

問 三条市税条例の一部改正が提案されたが、この改正により税収は減収になるのか。

答 今回の改正により減収となるものは、個人市民税の住宅ローン控除の拡充によるもの。額については予測できない要素もあるが、約1400万円の減収となる見込みである。

■議第15号

問 風疹の大流行に県も緊急対策を発表。今回の風疹予防接種の概要は。医療機関によっては抗体検査を求められたと聞くとどうか。

答 費用の3分の1は自己負担。3分の2を市で助成し、県は市の

■議第17号

問 介護予防事業参加促進事業の内容は。

答 生活機能の低下があり、要支援、要介護になる恐れがあると認定された2次予防事業対象者を健康診断等により把握し、介護予防事業への参加呼び掛けや相談支援事業を行い、さらに介護予防事業推進の統計資料を作成するもの。

今後も介護状態にならないよう取り組みを進めるため、2次予防事業対象者を確実に把握していきたい。

問 校務支援システムのクラウド化実証実験とは。

答 教師が児童生徒と向き合う時間の増大を図ることを目的として、児童生徒の成績管理、健康観察記録などの保健管理を含む学校業務のほとんどをクラウド化したシステムの実証実験に参加するもの。

システムの効果や課題など使用結果の意見集約、他自治体とのシステムの共有の在り方などを研究して、有効性の検証を行い、本格導入のための資料をまとめた。



児童クラブの建設と園庭拡張が予定される用地(左が井栗小学校、右がふじの木保育園)

■議第16号

問 新規の事業所に補助金を交付する事業なのに、なぜ公募しなかったのか。バイオマス以外に事業を検討しなかったのか。

答 申請までの期間が短く一般公募で実績のある業者に声を掛け、その中で新規に事業を設立することになった。



さんちゃん健康体操

討論

※1

日本共産党議員団

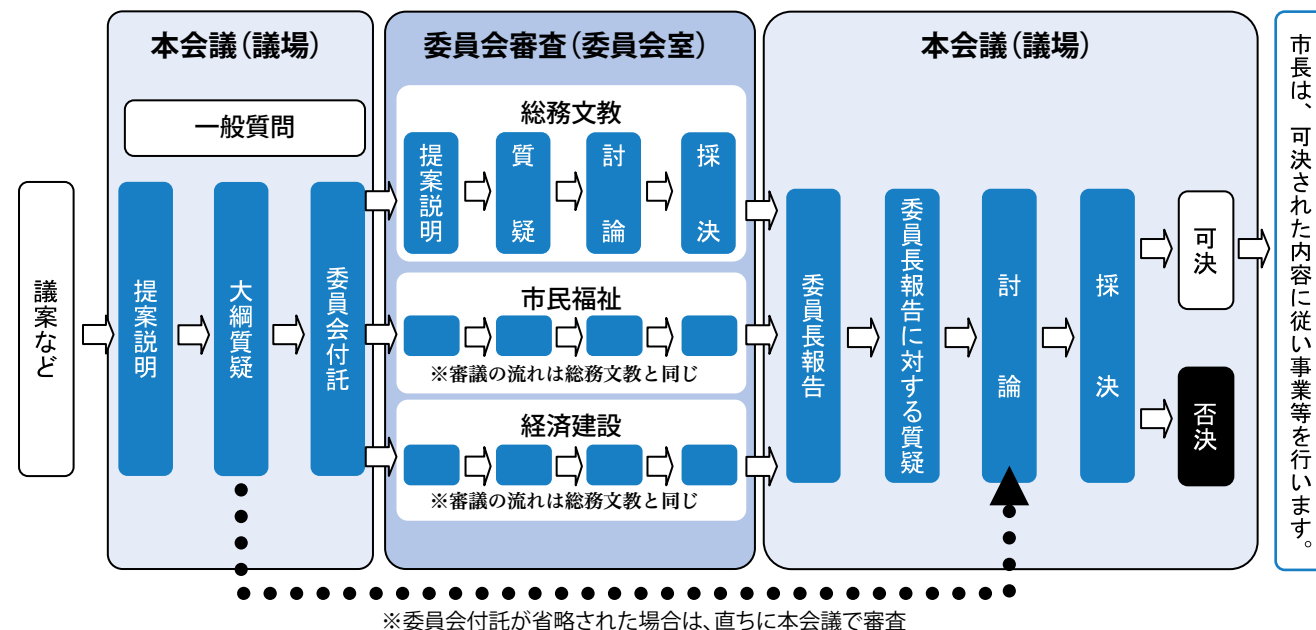
請願第36号「年金2.5%の削減中止を求める請願」について賛成する。

この請願は、今年10月から年金削減が開始されるに当たり提出されたもの。政府は年金削減の理由に「物価スライド特例水準の解消」と言い、今まで不当に高く年金を支給していたと説明している。しかし「年金百年安心」と言って、2004年以降、所得税の配偶者特別控除の上乗せ部分の廃止、65歳以上の老年者控除廃止と公的年金等控除の引き下げ、定率減税廃止等々毎年これでもかと増税を繰り返してきた。老齢基礎年金の満額は、実際には10年間で1万7712円も減額されている。また、介護保険料は制度発足時と比べ1.6倍に上がっている。社会保険料の引き上げや増税などで、生活に充てる年金額は大きく目減りしているのが実態だ。

また、公的年金積立金の市場運用で9兆円も損失を出しながら責任を取らない。

しかも、年金減額は児童扶養手当、障がい者や被爆者への手当削減にもつながってしまう。こうした「血も涙もない」やり方はするべきではない。以上の理由から、本請願には賛成する。

議案が決まるまで



※1【討論】提出議案や請願などについて、賛成・反対意見を表明することを行う。

常任委員会

市の行う事務に関する調査や議案などを効率的、専門的に行うため、議会が設置するもので、三条市は3つあり、議員はいずれかに所属しています。

議案は、本会議で直ちに決めるものもありますが、市政の範囲が広く、内容も複雑なため議案や請願を常任委員会に付託して、所管部局から詳しい説明を受け、質疑を行って委員会として結論を出し、本会議に報告します。

総務文教

総務部、教育委員会、消防本部ほか

市民福祉

市民部、福祉保健部

経済建設

経済部、建設部、農業委員会

市政の
?・を
問いました

議員と行政のQ&A

一般質問

ダイジェスト

観光・交流について

問 4月にオープンした下地域交流拠点施設の運営状況はどうか。ヒメサユリの小径、下地域交流拠点施設、いい湯らていの各施設の相乗効果はあったのか。

答 オープン以来1カ月で4万人弱。売り上げで2000万円弱となっており、順調な滑り出しと見ている。かなりの勢いで相乗効果が得られたと認識している。

問 いい湯らていのリニューアルオープン以降の入湯税はどうか。

答 平成24年度で2739万6000円となっている。

買い物難民対策について



助かってます、移動販売車

問 買い物難民が全国で910万人いるデータもある。解決策として移動販売車がある。人口減少地域では採算が取れないので、国、県の支援策を

活用すべきではないか。

答 国、県の補助メニューはハードルが高い。引き続き適用可能か見ていきたい。三条市として、できることはないかと考える時期に来ていると思っている。模索したい。

いつ受け取りが可能か

問 共通番号制度関連法が参議院本会議で成立した。この制度のメリットは、行政は事務の効率化を図り、市民は利便性が高くなる。市民に割り振られる番号は個人カードとしていつ受け取ることができるのか。また、個人情報流出や悪用への対応についてはどうか。

答 平成27年10月地方公共団体情報システム機構から個人番号が割り振られ、市が通知カードを送付する。平成28年1月以降、市の窓口で申請に基づき交付する予定としている。また、個人情報の保護に十分留意し対応を図る。

農業政策の見通しはどうか

問 これからの農業政策をどのように捉えているのか。制度変更による農業者への指導はどのようにするのか。農業活性化プランの取り組みについて

答 取り組んでいる第2次農業活性化プランの狙いに所得の向上、担い手の充実を掲げている。この2つの方向と矛盾する政策は考えにくいので、農業活性化プランの身近な具体の中身については、国全体の動向いかなを問わず確実に取り組んでいく。

て制度変更による見直し等を考えているのか。



農業担い手育成塾

人工透析に通院する人への
助成について

問 腎不全によって人工透析治療を受けている患者会の要望により、平成24年度から自家用車での通院にガソリン代の助成制度が開始された。自動

車税等の減免を受けている方を除く
とある。県内で同様の制度を行っているところが多いが、自動車税の減免とガソリン代の助成を選択させる
ところはない。市はどのような考
えなのか。

自動車税または軽自動車税の全額免除を受けている方は、既に公費による負担軽減がなされているので対象から除いた。人工透析を受けている方は、他の対象者の2倍の助成としている。

地域に伝わる民話で

絵本作成をしてはどうか

問 三条には民話を聞き、それを冊子にした「さんじょうの民話」がある。市民の手によって絵本にしてはどうか。

答 「越後下田の昔話」の本としてもまとめられている。昔話の活用ということでは、下田地域交流拠点施設で昔話を語ってもらう調整をしている。語り部に直接語ってもらうことは、下田地域を訴えることにもなるのではないか。
絵本にすることについては検討したい。



さんじょうの民話・越後下田の昔話

合併後10年を迎えるに当たり 減額される地方交付税

問 平成28年度から地方交付税が現在と比較してどの程度減額されるのか。

答 平成28年度約1億6000万円、29年度約4億7000万円、30年度約7億8000万円、31年度約10億9000万円、32年度約14億円、33年度約15億5000万円減少すると見込んでいる。

訴えなくても解決できたパルム問題

問 職員の交渉能力の欠如と今後の対応

てるような環境にない。

市の原子力防災対策は万全か

問 水源地域にある放射性浄水汚泥の検査と管理はどうなるのか。

答 100ベクレルを超える汚泥が計874トン。他に乾燥前の汚泥計1460トンについて、6月以降にセシウム検査を計画している。安全にシートで保管しているが処分方法は未定である。



三条地域水道用水供給企業団敷地内に保管される汚泥

問 原子力防災をどうするのか。放射能拡散シミュレーションを検討してはどうか。

答 今年度内の策定予定でいる。三条市は30キロ圏外で避難受け入れの地域だが状況により屋内退避や避難も考



八十里越体感バスツアー

問 八十里越の完成見通し、現在の進捗状況はどうか。

答 進捗率は69%で、完成の見通しが立

えられる。拡散予測は広域連携になるが、モニタリングポストも含めて、それらを念頭におきながら具体の検討を進めたい。

布施谷川水系の内水対策

問 排水能力のハード対策が必要ではないか。

答 水系全体はいまだ完成途上なので、信濃川も含め県に強く要望していきたい。

国道403号三条北バイパス



国道403号三条北バイパス第2工区と布施谷川架橋予定地

問 県 の 地 権 者 説 明 会 の 状 況 は ど う か。
一部地権者への案内漏れなど不手際があった。事業主体である県の出す方向性に応じて、事業促進のため市としても協力していきたい。

森町小と荒沢小の統合、校歌について



来春の統合を目指す
森町小学校(上)と
荒沢小学校(下)



問 統合準備委員会で、統合後の校舎と校名は森町小学校に、校歌は故諸橋徹次博士作詞の荒沢小学校校歌を一部修正して使うと聞いた。ある委員から「時間が無い、お金が無い、統合後もいずれどうなるかわからない、お金をかけて校歌を新設するのは無駄」と言われているように感じた。聞いたが、事実なのか。博士が作詞した校歌を改変することに違和感を感じるが、どうか。

答 事務局から案を出した。校歌は荒沢小学校校歌を「遺族の了承を得た上で一部修正して使用することにした。

パルム1跡地について

委員の中から経費はできるだけ節約し、その分子どもたちのために使ってもらいたいとの意見を踏まえたもの。

問 パルム裁判は新潟地方裁判所三条支部での判決が下され、東京高裁の控訴審も判決が下る。改めてパルム1跡地に第四銀行が出ることで、中心市街地の活性化にどうつながるのか。

答 全くの塩漬けの状態だが、そのときの状況と比較をすれば中心市街地の活性化のために寄与できる。



中心市街地の一角で空き地状態が続くパルム1跡地

布施谷川、新川排水路及び貝喰川 内水氾濫対策検討会による 検討経過について

問 第4回検討会議で中間取りまとめが行われた。吉津川の流下能力は著しく不足しており、その対策として、新川排水路の樋門の早期開門によって事前に水位を低下させることや排水ポンプでの排除、宅地のかさ上げなどが有効というが、県は吉津川の拡幅は難しいということだった。吉津川の湛水は原因がはっきりとしており、ハード整備がなく市民が安全で安心して暮らすことができない。検討状況をどう受け止めているのか。



7・29水害時の吉津川(国道403号から下流に向かって)

答 ハード整備の思いは同じであり、しっ

問

公共施設の修繕、老朽化対策は指定管理者施設を含めどのように計画しているのか。

答

維持管理や今後の改修等のため台帳

外壁ボロボロ、壁朽ち…

問

跡地利用の進捗状況はどうなっているのか。また、南小学校は耐震基準をクリアしているのか。

答

南小は耐震診断をしていない。跡地利用の検討結果を踏まえ耐震診断を検討したい。跡地利用はインキュベーション機能を持ったものづくりの拠点、地域コミュニティの活用。一中は雨水対策で調整池を設置、体育館と武道場は避難所としても活用。今後、駐車場や公園等の整備を地元と協議していく。

南小学校、耐震は大丈夫？

問

小中学校両方の免許所持者は少ないと思うが、小・中両校で教えられるのか。また、教員の辞令は小中学校兼務となるのか。

答

乗り入れ授業は、小中の教員がチームを組んで2人で行う。特別な辞令を必要としない取り組みをする。

「乗り入れ授業」先生方は兼務？



補修を待つ道路

問

依然として市民要望の多いのが道路維持管理である。本年度、市道の大規模補修の予定箇所はどこか。

答

幹線道路を中心に計画をしている。例えば市道三竹柳沢線、また市道やまなみ線、これらの路線を予定しており、局部的には通学路も含まれている。生活道路を含めた舗装修繕も対応しており、随時柔軟に対応していく。

道路の維持管理問題を再度訴える！

かりと情報を把握して攻めるべきは攻めていきたい。7・29豪雨災害の湛水状況を忘れたつもりはない。安心して生活していくためにも頻度の高い災害から解放されていくことだと思っている。災害の不安から一日も早く解放されていくように取り組みたい。



塗装がはげたままの外壁



ボロボロになった浴室の壁

を整備した。予算編成時に修繕箇所を緊急度、財政状況等を見て実施。除雪については、指定管理者で対応困難な場合は市で行う。

問

市の自殺者の数は平成23年度以前の5年間で見た場合、およそ30人前後で推移している。介護支援専門員や相談事業所職員など、比較的风险の高い方々と接する機会の多い方々を対象にゲートキーパー養成研修を実施し、昨年度は20人から受講していただいた。本年度は同様の研修会

答

市での自殺者の数は平成23年度以前の5年間で見た場合、およそ30人前後で推移している。介護支援専門員や相談事業所職員など、比較的风险の高い方々と接する機会の多い方々を対象にゲートキーパー養成研修を実施し、昨年度は20人から受講していただいた。本年度は同様の研修会



意外と作成されている資料

問

自殺者数の現状はどうか。基礎自治体あるいは自治会などできる取り組みは、生身の人間が直接に関わることである。ゲートキーパーの養成状況はどうか。

答

自殺者数の現状はどうか。基礎自治体あるいは自治会などできる取り組みは、生身の人間が直接に関わることである。ゲートキーパーの養成状況はどうか。

自殺対策において基礎自治体として、あるいは基礎自治体にはできないことは

問



小学校6年生と中学校1年生による合同授業の様子

答

5年間の導入準備を経て今春から全面実施となった三条市の小中一貫教育

問

中央教育審議会初等中等教育分科会・作業部会の意見整理では、「今後より多くの小・中学校において小中連携、一貫教育が導入されること」が望まれる」としている。先進地の効果に国が期待を寄せているというところか。

答

社会性の育成、学力向上、中一ギャップの解消などの成果に大きな期待を寄せていると認識している。

問

小中一貫教育、国はどう考える？

答

中1の不登校発生率が低下。小学校から中学校への切れ目のない支援に小中の教職員が一緒に取り組んだ結果と考える。NRT（全国標準学力検査）で小6までは全国平均を上回っているものの中1以上は徐々に下がる傾向にあったが、下がり方の程度が小さくなっている。小中一貫教育の取り組みが徐々に反映して、やがて学力が平均を超える兆しを感じている。

子どもたちの土曜日が変わる!?

文部科学省内で議論されている土曜日授業の復活をどう捉えるか。

学校現場では、現行週5日制の中で対応できている。



職員互助会が主体的に活動。強制はない。労基法に抵触しない。

大名行列参加が各課への半ば動員であり、平日開催であれば有給休暇を半ば強制的に取得させているが労基法に抵触しないか。ボランティア休暇にすべきではないか。

職員の労務対策について

国の基準より手厚く配置。民間も同じ。

公立保育所の職員配置は基準通り配置されているか。民営化保育園の配置状況はどうか。

保育所の職員配置について

入館者の落ち込みは真摯に受け止めるが経営悪化になっていない。CMの中身まで口出しはしない。今後もサービス向上に努める。

テは858人増えたが、レストランはくちは1万202人減っている。この分析はどうか。テレビCMはなぜ始めたのか。その投資効果はどうか。お役所的体質ではないか。

の他に、民生委員さん等を対象に実施していく予定である。

悲惨なハナミズキ
(ハナミズキ街道について)

悲惨な状態にあるが、その現状認識と抜本的対策はどうか。

枯れて撤去済み100本など、道路管理者の県に抜本的対策を要望する。



悲惨な状態のハナミズキ

いい湯らていゴッソ・ラーテの経営状況について

直近6カ月の利用でゴッソ・ラー

常任委員会審査レポート

各委員会に付託された議案等について、議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。



また、厚生労働省が子宮頸がんワクチンの積極的な接種の勧奨を差し控える勧告をしたことについて、三条市では委託医療機関に対する直接周知及び市のホームページ等を通じての周知の他、3回目の接種を終えていない対象者760人に対しては手紙による個別周知を行ったことでした。

また、インクルーシブ構築モデルスクール事業のモデル校指定について、三条小学校は言語を中心とした通級学級があり市の特別支援教育のリーダー的な役割を担っていることから、四日町小学校は一体校に特別支援学級の設置を見据えており新たな教育課程の編成に生かすことから選定したとのことでした。



また、街灯のLED化に伴う設置工事の際の地元業者の活用について、プロポーザル方式による選定の際、実施要綱の中で市内業者の活用を優先的にいうことを明示していきたいとのことでした。

また、第16号平成25年度三条市一般会計補正予算の地域本質バイオマス循環利活用事業で、収益があった場合の交付金の取り扱いについて、基本的に利益は出ないものと考えており、総務省に確認したところ交付金返金の事例は無く、またかなりの収益があり独り立ちしたところであれば、返金してもらうこともできると理解していただきたことと回答があったとのことでした。

請願第36号年金2・5%の削減中止を求める請願では、願意は妥当であるとの賛成討論がありました。



また、災害復旧費について、事業者の倒産によって前払いした分の損害を市が被ったことに対しての補償と損害について、前払い金については東日本建設業保証株式会社から前払い金保証金として受領しており、前払い金利息は破産管財人に対し支払いを求めている。このため市に対して大幅な金額の債務が発生している認識はないとのことでした。

井栗児童クラブ棟 平成26年度建設着手を目指す 総務文教常任委員会 森山 昭 委員長

議第10号三条市学校給食共同調理場設置条例の一部改正では、三条小学校の給食について、できるだけ温かいものを食べさせたいという気持ちと運搬費の経費削減という目的から9月に移行せず、26年4月に裏館学校給食共同調理場に移行するものであるとのことでした。

議第15号平成25年度三条市一般会計補正予算では、井栗児童クラブ棟の建設、ふじの木保育園の園庭拡張のための用地取得に向けたスケジュールについて、今年度は測量と不動産鑑定を行い、その後用地取得、造成、児童クラブ棟の建設に着手したい。園庭については造成後、ふじの木保育園の運営主体に無償貸与し、整備してもらう予定であるとのことでした。

風疹予防接種に公費助成 市民福祉常任委員会 野崎正志 委員長

議第15号平成25年度三条市一般会計補正予算では、風疹予防接種費用の自己負担について、おおむね1/3としており、単独ワクチン接種と混合ワクチン接種では個人負担額に差が生じるが、個人の責任による任意の接種であるため、接種者には応分の負担をお願いしたいとのことでした。

また、街灯のLED化に伴う設置工事の際の地元業者の活用について、プロポーザル方式による選定の際、実施要綱の中で市内業者の活用を優先的にいうことを明示していきたいとのことでした。

ソレイユ三条 指定管理に 経済建設常任委員会 武石栄二 委員長

議第9号三条市勤労青少年ホーム条例の一部改正については、勤労青少年ホーム（ソレイユ三条）の指定管理について、運営審議会を開催し議題としたが、附帯意見は無かった。ホームの利用を増やす目標については、指定管理者を選定する際に審査基準表等を作り、これからの方針を定めたいとのことでした。

議第15号平成25年度三条市一般会計補正予算では、農業・食品産業強化対策整備交付金のうち、いちカントリーエレベーター増設・能力増強工事一式について、平成27年くらいには現在と同じ稼働率に上がると考えられるため、今回の増設は過剰設備にはならないと考えているとのことでした。

試験登校 夏休みに3回程度実施

問 一中一校の開校は平成26年4月。開校時1414人でスクールバスの対象者は243人。スクールバス9台、冬場は10台。乗降場所は決定したのか。子ども達を乗せた試験走行、子ども達が通学路を歩く計画はどうか。

答 乗降場所は4カ所決定した。試験登校は4カ所で延べ10回程度予定。夏休みに条南小学校と南小学校がバスと徒歩で実施する。校舎が12月15日完成予定なので冬期間4カ校合同で試験登校を数回実施する計画である。



スクールバス

問 二中一校が開校してから9カ月。成果と課題は。

答 小中学校教職員が連携を取り合うこ

とで小中一貫教育の可能性や期待度が高まった。教職員の意識の向上が図られた。課題は学力向上と、より良い人間関係を築く力を育むこと。

問 旧一ノ木戸小学校と一中の跡地を必要部分は残し、あとは宅地分譲地として売却してはどうか。

答 旧一ノ木戸小学校は子ども達が遊べる場所にする。

防災減災対策について

問 避難所の見直し結果はどうなっているのか。

答 命を守る避難所は、災害の種類ごとに安全な施設になるよう選定基準を見直し、滞在型避難所と緊急避難所に区分した。介護サービス事業所などを福祉避難所として対応することを考えている。

問 災害時応援協定の現状は。今後の推進をどう考えるのか。

答 相互応援のため、新潟市を中心に近隣の12市町村と締結している。遠隔地は他県の7市町村と締結している。災害の種類に応じた必要性について検討する。普段から顔の見える交流も大切である。

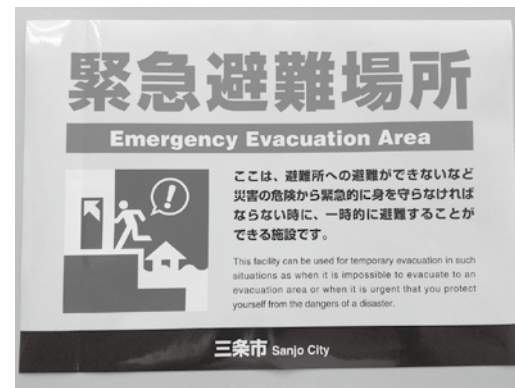
問 ハード面における防災安全交付金の活用はどうか。

答 道路の安全確保や学校の耐震化、下

中小企業対策について

問 売れるものづくり、しくみづくり支援事業の現状と成果は。小規模企業枠の採択状況はどうか。

答 ものづくり支援事業は、申請10件に対し6件の採択。うち4件が小規模



民間施設の緊急避難場所ステッカー



緊急避難場所選定の手引き

水道事業などに活用。約11億5000万円の交付内示を受けている。

県と市町村の役割分担を明確に！

梓。しくみづくり支援事業は、申請8件全て採択。うち6件が小規模枠。成長を後押しする支援成果が出ている。

問 県と市町村の役割分担が不明確なまま地方分権が進んでいるため、行政効率が悪くなっている。住民に身近な福祉や公共事業などは市町村、高速交通体系の整備や国際的視野に立った産業振興施策などは都道府県というように役割を明確に分担すべきだ。今回提案された風疹の予防接種も臨時接種なのだから本来は県がやるべきことではないか。

答 補完性、近接性の原理に基づく基礎自治体優先の原則が地方分権の本来の姿。農振除外や農地転用、教員の人事権など事実上、都道府県が権限を握り続けているものもあり、そういう意味では分権は道半ばの状況にある。風疹の予防接種も乳幼児医療費助成も県は市町村を介した補助制度の形を取っているが、いつも一方的で突然だ。県内の市長たちのフラッシュセッションもたまっている。市長会でしっかりと議論し、県に言っていくたい。

インターネットで市議会の様子を配信しています

定例会や臨時会の本会議の様子は、録画中継でご覧いただけます。
なお、録画中継は正式な会議録の公開前に、本会議での議員や市長等の発言を動画で配信するものです。

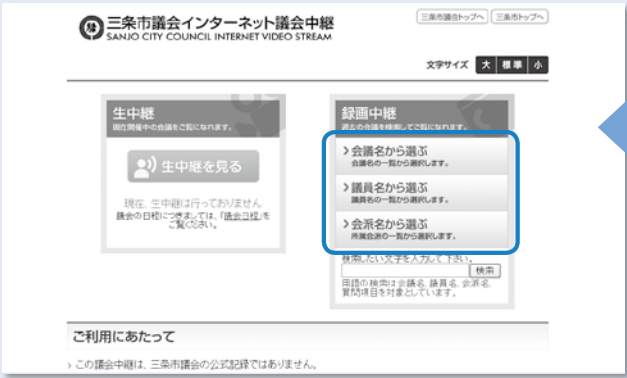
視聴の方法



三条市ホームページの **市議会のページへ** をクリック
(三条市ホームページのアドレスは <http://www.city.sanjo.niigata.jp/> です。)



さらに **インターネット議会中継** **三条市議会インターネット議会中継トップページへ** を
クリック



視聴したい会議を検索してご覧ください。
(検索は会議名、議員名、会派から選ぶことができます。)

平成24年度政務調査費収支報告

政務調査費は、地方議会議員の市政等に関する調査研究に資するための必要な経費の一部として、会派または議員に対し交付される金銭的給付です。本市では、市議会における会派に対して、議員一人当たり月額3万円を年度当初に12カ月分を一括で交付しています。この支出に当たっては使途基準に従って行われ、使途の透明性を図るため、支出したもののすべての領収書の提出が必要になっています。

各会派から平成24年度政務調査費の収支報告が提出されましたので、収支の状況をお知らせします。

会派名	収入 ※1	支出内訳							支出合計	返還金 ※3
		研修費	会議費	旅 費	資料費	使用料	通信費	その他 経費		
自 由 ク ラ ブ (10名)	3,600,000	95,000	0	2,622,940	3,200	63,000	1,050	36,000	2,821,190	779,111
新 政 ク ラ ブ (4名)	1,440,000	152,000	0	817,840	239,040	189,170	2,625	31,579	1,432,254	7,839
新 し い 風 (4名)	1,440,000	215,000	0	837,090	0	0	840	24,641	1,077,571	362,551
清 流 (4名)	1,140,000	38,000	0	759,940	34,440	14,280	0	37,875	884,535	255,564
日 本 共 産 党 議 員 団 (2名)	720,000	46,000	0	201,940	140,385	8,463	750	9,796	407,334	312,739
公 明 党 議 員 団 (2名)	720,000	30,000	0	62,000	81,325	68,040	1,365	19,059	261,789	458,291
無 所 属 (佐藤宗司議員) ※2	300,000	65,150	0	218,860	6,090	71,400	1,680	0	363,180	0
計 (26名)	9,360,000	641,150	0	5,520,610	504,480	414,353	8,310	158,950	7,247,853	2,176,095
研 修 費	中越地区市議会合同研修会や近隣の燕市と加茂市との三市議会議員合同研修会などの参加に要した費用。									
旅 費	先進地の調査研究等、行政視察に要した費用。									
資 料 費	新聞、書籍などの購読や会派の会報作成に要した費用。									
使 用 料	パソコンのリースや会派の会報の新聞折り込みなどに要した費用。									
通 信 費	振込手数料。									
その他経費	プリンターインクなど事務用品の購入に要した費用。									

※1 交付額は1人当たり月額30,000円です。
H25.1会派人数変更(清流:3人→4人)
※2 佐藤宗司議員はH25.1に清流に入会したため、H24.4～H25.1までの収支になります。
※3 返還金は、収入から支出合計を差し引いたものに預金利息を足した額になります。

議 会 日 誌

4月

- 4日 北信越市議会議長会定期総会
(富山県富山市)
- 10日 議会運営委員会
- 15日 議会報編集委員会
- 16日 山形県山形市議会視察来条
- 17日 村上市議会視察来条
- 18日 兵庫県川西市議会視察来条
- 23日 議会報編集委員会
- 24日 神奈川県愛川町議会視察来条
- 25日 大阪府貝塚市議会視察来条
- 30日 議会報編集委員会

5月

- 1日 佐賀県佐賀市議会視察来条
- 2日 兵庫県宝塚市議会視察来条
- 8日 魚沼市議会視察来条
- 9日 埼玉県所沢市議会視察来条
- 10日 山口県周南市議会視察来条
各派代表者会議
- 15日 東京都多摩市議会視察来条
- 20日 自由クラブ行政視察
～22日(滋賀県大津市、滋賀
県栗東市、東京都三鷹市)
清流行政視察
～22日(大阪府池田市、兵庫
県姫路市、鳥取県鳥取市)
- 21日 地方自治経営学会[新しい風]
～22日(東京都)
- 22日 全国市議会議長会定期総会(東
京都)
- 23日 日本自治創造学会[新しい風]
～24日(東京都)
- 24日 新潟県特別豪雪地帯市町村議
会協議会定期総会

6月

- 3日 各派代表者会議
議案概要説明会
議会運営委員会
- 7日 議会運営委員会
- 10日 本会議[全国市議会議長会表彰
状伝達式、提案説明]
- 11日 本会議[大綱質疑～委員会付託、
一般質問]
- 12日 本会議[一般質問]
- 13日 本会議[一般質問]
議会運営委員会
- 14日 本会議[一般質問]
議会報編集委員会
- 17日 市民福祉常任委員会
- 18日 経済建設常任委員会
- 19日 総務文教常任委員会
総務文教常任委員協議会
- 21日 各派代表者会議
議会運営委員会
- 24日 本会議[委員長報告～採決]
- 26日 島根県安来市議会視察来条

9月定例会日程

- | | | | | |
|--------|-----------|---------------------|--------|--------------|
| 3日(火) | 本会議 | 特別委員会設置、提案説明 | 12日(木) | 経済建設常任委員会 |
| 5日(木) | 本会議 | 大綱質疑～委員会付託、
一般質問 | 13日(金) | 総務文教常任委員会 |
| 6日(金) | 本会議 | 一般質問 | 17日(火) | 決算審査特別委員会 |
| 9日(月) | 本会議 | 一般質問 | 18日(水) | 決算審査特別委員会 |
| 10日(火) | 本会議 | 一般質問 | 19日(木) | 決算審査特別委員会 |
| 11日(水) | 市民福祉常任委員会 | | 24日(火) | 決算審査特別委員会 |
| | | | 26日(木) | 本会議 委員長報告～採決 |

議員表彰



佐藤和雄議員

西川哲司議員

島田伸子議員

永年にわたり市政発展に尽力された功績により、全国市議会議長会から佐藤和雄議員及び西川哲司議員が議員在職15年以上の、島田伸子議員が議員在職10年以上のそれぞれ一般表彰を受けられました。

また、北信越市議会議長会から佐藤和雄議員及び西川哲司議員が議員在職15年以上の特別表彰を受けられ、島田伸子議員が議員在職10年以上の一般表彰を受けられました。

編集後記

汗をかきながらの編集作業ですが、市民の皆様から読んでいただける魅力ある議会報づくりにと頑張っています。

暑い夏がやってきました。水分を十分にとり熱中症には気をつけて!! 風鈴、グリーンカーテンなど体感温度を下げるものを利用しながら暑い夏を元気に乗り切っていきましょう!

【議会報編集委員会】

委員長 島田伸子
副委員長 武藤元美
佐藤和雄 名古屋豊 佐藤宗司 笹川信子

発行/三条市議会
編集/議会報編集委員会
責任者/議長 熊倉 均

三条市議会事務局
電話:0256-34-5511(代)内線347 Fax:0256-33-8861
<http://www.city.sanjo.niigata.jp/>
E-mail:gikaij@city.sanjo.niigata.jp